

(別紙1) (記載例・空気)

申請日現在で記入

機 械 器 具 の 概 要

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
浮遊粉じん測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	(記入不要)	平成〇年〇月
一酸化炭素測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
二酸化炭素測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
温度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇本		平成〇年〇月
湿度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
風速計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
測定器固定用スタンド	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・ダクト)

申請日現在で記入

機 械 器 具 の 概 要

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
電気ドリル	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
シャー又はニブラ	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
内視鏡	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	写真撮影可能なもの	平成〇年〇月
電子天びん又は化学天びん	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	分解能1mg以上	平成〇年〇月
コンプレッサー	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
集じん機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
真空掃除機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・水質)

機 械 器 具 の 概 要

申請日現在で記入

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
分光光度計又は光電光度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	(記入不要)	平成〇年□月
フレームレス - 原子吸光光度計、 誘導結合プラズマ発光分光分析装置 又は誘導結合プラズマ - 質量分析装置	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
高圧蒸気滅菌器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
恒温器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
乾燥器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
全有機炭素定量装置	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
イオンクロマトグラフ	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
PH計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
電子天びん又は化学天びん	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
ガスクロマトグラフ - 質量分析計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・貯水槽)

申請日現在で記入

機 械 器 具 の 概 要

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
揚水ポンプ	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	(記入不要)	平成〇年□月
高压洗浄機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
残水処理機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
換気ファン	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
防水型照明器具	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
色度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
濁度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
残留塩素測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年□月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・排水管)

機 械 器 具 の 概 要

申請日現在で記入

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
内視鏡	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	写真撮影可能、ケーブルの長さ15m	平成〇年〇月
高圧洗浄機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
高圧ホース	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
洗浄ノズル	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
ワイヤ式管清掃機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
空圧式管清掃機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
排水ポンプ	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・防除)

機 械 器 具 の 概 要

申請日現在で記入

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
照明器具	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	(記入不要)	平成〇年〇月
調査用トラップ	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
実体顕微鏡	〇〇社製 〇〇-△△型	〇枚		平成〇年〇月
毒じ皿	〇〇社製 〇〇-△△型	〇個		平成〇年〇月
毒じ箱	〇〇社製 〇〇-△△型	〇個		平成〇年〇月
捕そ器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇個		平成〇年〇月
噴霧器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
散粉機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
真空掃除機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇個		平成〇年〇月
防毒マスク	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
消火器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙1) (記載例・総合)

機 械 器 具 の 概 要

申請日現在で記入

年 月 日現在

名 称	型 式	数 量	性 能	購 入 年 月 日
真空掃除機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台	(記入不要)	平成〇年〇月
床みがき機	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
浮遊粉じん測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
一酸化炭素測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
炭酸ガス測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
温度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇本		平成〇年〇月
湿度計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
風速計	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
測定器固定用スタンド	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
残留塩素測定器	〇〇社製 〇〇-△△型	〇台		平成〇年〇月
(物的要件の機械器具に含まれないものは記入する必要はない。)				

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(別紙2) (記載例・清掃、空気、ダクト、貯水槽、排水管、防除)

監督者等名簿

申請日現在で記入

年 月 日現在

監督者等の名称	氏名	業務範囲	経験年数	資格の種別	資格取得年月日
(注1) 清掃作業監督者	○山 △男	(注2) 清掃作業計画の作成及び清掃作業監督業務	10年	(注3) 清掃作業監督者再講習会終了 第○号	平成○年□月△日
清掃作業監督者	○野 △子	業務従事者研修、及び清掃作業監督業務	5年	清掃作業監督者講習会終了 第△号	平成△年□月○日
清掃作業監督者	○島 △雄	業務従事者研修、及び清掃作業監督業務	5年	建築物環境衛生管理技術者 第□号	平成□年△月○日

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

(注2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注3) ○○講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

(別紙2) (記載例・水質)

監督者等名簿

申請日現在で記入

年 月 日現在

監督者等の名称	氏名	業務範囲	経験年数	資格の種別	資格取得年月日
(注1) 水質検査実施者	○川 △男	(注2) 細菌検査	10年	(注3) ○○大学理学部△学科卒業	平成○年□月△日
水質検査実施者	○田 △子	理化学検査	5年	臨床検査技師	平成△年□月○日
水質検査実施者	○原 △子	理化学検査	3年	技術士	平成□年△月○日

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

(注2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注3) ○○講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

申請日現在で記入

(別紙2) (記載例・総合)

監督者等名簿 年 月 日現在

監督者等の名称	氏 名	業 務 範 囲	経 験 年 数	資 格 の 種 別	資格取得年月日
(注1) 統括管理者	○ 田 △ 男	(注2) 建築物の総合管理責任者	10年	(注3) 統括管理者講習会終了 第○号	平成○年□月△日
清掃作業監督者	○ 原 △ 子	清掃部門の作業を監督	5年	清掃作業監督者講習会終了 第△号	平成△年□月○日
空調給排水管理監督者	○ 川 △ 子	空調給排水管理部門の作業を監督	3年	空調給排水管理監督者講習会終了 第□号	平成□年△月○日
空気環境測定実施者	○ 山 △ 郎	空気環境測定担当	0年	建築物環境衛生管理技術者 第◇号	平成□年△月○日

(備考) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

(注1) 清掃業の場合は清掃作業監督者、空気環境測定業の場合は空気環境測定実施者、空気調和用ダクト清掃業の場合はダクト清掃作業監督者、飲料水水質検査業の場合は水質検査実施者、貯水槽清掃業の場合は貯水槽清掃作業監督者、排水管清掃業の場合は排水管清掃作業監督者、ねずみ昆虫等防除業の場合は防除作業監督者、環境衛生総合管理業の場合は統括管理者、清掃作業監督者、空調給排水管理監督者及び空気環境測定実施者について記入する。

(注2) 監督者等が複数いる場合は、それぞれの業務分担を記入する。

(注3) ○○講習会修了、建築物環境衛生管理技術者免状保有者等と記入する。

(別紙3) (記載例・清掃)

研修実施状況(計画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (清掃作業監督者)	30人	30人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定		30人	30人
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・清掃)

研修実施状況(計画) (自13年○月○日 ~18年○月○日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月○日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野 △子 (清掃作業監督者)	20人 20人	20人 20人
平成△年○月×日	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講		30人 30人	30人 30人
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・ダクト)

研 修 実 施 状 況 (計 画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (ダクト清掃作業監督者)	3人	3人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定	/	3人	3人
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

- 備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・ダクト)

研修実施状況(計画) (自17年 月□日 ~18年○月□日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野 △子 (ダクト清掃作業監督者)	2人	2人
平成△年○月×日	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講		2人	2人
	(再登録の際は6年分の記載が必要です。)			
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・貯水槽)

研 修 実 施 状 況 (計 画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (貯水槽清掃作業監督者)	3人	3人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定		3人	3人
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・貯水槽)

研修実施状況(計画) (自13年○月○日 ~18年○月○日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容			
平成△年○月○日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (貯水槽清掃作業監督者)	3人	3人
平成×年○月○日	社内研修を次のように実施した。(内容は前年に同じ)		3人	2人
平成×年○月■日	登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講			1人
	(再登録の際は6年分の記載が必要です。)			
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・排水管)

研 修 実 施 状 況 (計 画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (排水管清掃作業監督者)	30人	30人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定		30人	30人
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・排水管)

研 修 実 施 状 況 ~~(計画)~~ (自13年○月○日 ~18年○月○日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容			
平成△年○月○日	社内研修を次のように実施予定 <ul style="list-style-type: none"> ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野 △子 (排水管清掃作業監督者)	3人	3人
平成×年○月○日	社内研修を次のように実施した。(内容は前年に同じ)		3人	2人
平成×年○月■日	登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講			1人
	(再登録の際は6年分の記載が必要です。)			
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

- 備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・防除)

研修実施状況(計画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (防除作業監督者)	30人	30人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定		30人	30人
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・防除)

研修実施状況(計画) (自13年○月○日 ~18年○月○日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研修の期日	研修の内容			
平成△年○月○日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野 △子 (防除作業監督者)	3人	3人
平成×年○月○日	社内研修を次のように実施した。(内容は前年に同じ)		3人	2人
平成×年○月■日	登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講			1人
	(再登録の際は6年分の記載が必要です。)			
指定団体の証明欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・総合：清掃作業従事者研修)

研 修 実 施 状 況 (計 画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野△子 (清掃作業監督者)	30人	30人
平成△年度	あるいは、 登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講予定	/	30人	30人
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

- 備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
- 4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・総合：清掃作業従事者研修)

研 修 実 施 状 況 ~~(計画)~~ (自13年○月□日 ~18年○月□日)

営業所名 ○○株式会社 川崎営業所

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容			
平成△年○月□日	社内研修を次のように実施予定 ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ・ (分) ※ 時間数が7時間(420分)以上であること。 ※ 内容は平成25年1月21日付け健衛発0121第1号厚生労働省健康局生活衛生課長通知の別添を参考にする。	○野 △子 (清掃作業監督者)	3人	3人
平成×年○月□日	社内研修を次のように実施した。(内容は前年に同じ)		3人	2人
平成×年○月■日	登録研修機関(実施機関名を記載)が開催する登録研修を受講			1人
	(再登録の際は6年分の記載が必要です。)			
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・総合：空調給排水管理従事者研修)

研 修 実 施 状 況 (計 画) (自 年 月 日 ~ 年 月 日)

営業所名 _____

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成18年○月□日	空調給排水管理従事者に対する社内研修を次のように実施予定 ・空調給排水設備の運転方法 ・空調給排水設備の日常的な点検及び補修方法 ・水の異常の判断方法 ・残留塩素の測定方法 等の内容を含み、時間数が、合計7時間以上であること。	○野△子 (統括管理者)	10人	10人
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。

4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙3) (記載例・総合：空調給排水管理従事者研修)

研 修 実 施 状 況 ~~(計画)~~ (自18年○月○日 ~ 年○月○日)

営業所名 ○○株式会社 神奈川営業所

年 月 日現在

研 修 の 期 日	研 修 の 内 容	研修講師の氏名及び資格	対象従事者数	参加従事者数
平成13年○月○日 平成14年○月○日	空調給排水管理従事者に対する社内研修を次のように実施予定。 ・空調給排水設備の運転方法 ・空調給排水設備の日常的な点検及び補修方法 ・水の異常の判断方法 ・残留塩素の測定方法 等の内容を含み、時間数が、合計7時間以上であること。	○野 △子 (統括管理者)	10人	10人
平成15年○月○日	〃	〃	10人	30人
平成16年○月○日	〃	〃	10人	10人
平成17年○月○日	〃	〃	20人	20人
平成18年○月○日				
指 定 団 体 の 証 明 欄	上記の研修については本団体の指導により行われた(行われる)ものである。 年 月 日 (指定団体名) (代表者氏名 印)			

- 備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
 2 新規登録の場合は、過去1年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。
 3 再登録の場合は、過去6年間の実績及び今後1年間の計画を記載する。 4 指定団体が研修修了証明証を記入する際、2葉以上に記入する場合は、各葉ごとに証明する。

(別紙4-1)

清掃作業実施方法(2-1)

年 月 日現在

	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業班編制			
作業手順	(1) 作業工程（日常清掃を行わない箇所についての定期点検に関する事項を含む。） ・㊶ 事前打ち合わせ ㊷ 準備 ㊸ 清掃作業 ㊹ 事後作業 ㊺ 報告等の手順ごとに具体的な記載があること。		
	(2) 機械器具等の点検方法 ・真空掃除機、床みがき機は定期に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。 ・その他の清掃器具並びに保管庫について定期に点検し、必要に応じ整備、取り替えを行う旨の記載があること。 ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。 (3) 清掃作業に伴って排出されるごみや清掃作業によって生じる排水の処理方法 (4) 作業報告書作成の手順 ・作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する等の記載があること。 (1)～(3)については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第一の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙4-2)

清掃作業実施方法(2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第一の一から六までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

作業班編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業手順	<p>(1) 空気環境の測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①事前打ち合わせ ②準備 ③測定作業 ④報告等の手順ごとに具体的な記載があること。 <p>(2) 測定機器の点検、較正等の方法並びにこれらの記録の保管方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浮遊粉じん測定器は年1回較正し、その記録を保管しておくこと。 ・その他の機械器具は定期及び作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。 ・使用する測定器、保管庫について定期に点検し、測定器ごとに整理して保管すること。 ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。 <p>(3) 測定結果報告書作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定結果報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨の記載があること。 ・空気環境の測定結果については、委託する場合にあっても、自ら保存すること。 ・測定結果の保存方法・保存責任者を決め、その旨を記載すること。 <p>(1)～(3)については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第二の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第二の一から三までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙6-1)

空気調和用ダクト清掃作業実施方法 (2-1)

年 月 日現在

作業班編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業手順	<p>(1) 作業工程 (ダクト清掃の効果の確認方法に関する事項を含む。)</p> <ul style="list-style-type: none">・㊦ 事前打ち合わせ ㊧ 準備 ㊨ ダクト停止 ㊩ 集塵ユニットの設置 ㊪ 点検 ㊫ 運転再開 ㊬ 報告等の手順ごとに具体的な記載があること。 <p>(2) 機械器具等の点検方法</p> <ul style="list-style-type: none">・電子天びん、化学天びんは年1回較正し、その方法の記載があること。・その他の機械器具は定期及び作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。 <p>(3) ダクト清掃に伴って排出されるごみの処理方法</p> <p>(4) 作業報告書作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none">・ダクト清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する等の記載があること。 <p>(1) 及び (2) については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第三の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第三の一から五までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙7-1)

飲料水水質検査作業実施方法 (2-1)

年 月 日現在

作業班 編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業 手 順	<p>(1) 水質検査の方法（試料の採水及び保存に関する事項を含む。） ・試料の採水及び保存に関する方法についても記載があること。</p> <p>(2) 試薬及び標準物質の保存方法 ・水質検査に用いる試薬、標準物質は施錠できる保管庫等に保管すること ・保存方法、有効期限が設定されている試薬、標準物質はその保存方法の有効期限を遵守すること。</p> <p>(3) 検査室の整理及び清掃の方法並びに管理責任者の氏名 ・管理責任者を決め、その氏名を記載すること。 ・検査室の整理及び清掃の方法について具体的な記載があること。</p> <p>(4) 機械器具等の点検方法並びにこれらの記録の保存方法 ・水質検査に用いる機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。 ・機械器具ごとに点検方法をきちんと定め、点検の記録は測定器ごとに整理して保管してあること。 ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。</p> <p>(5) 測定結果報告書作成の手順 ・水質検査報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨の記載があること。 ・測定結果の保存方法を記載すること ・保存責任者を決め、その氏名を記載すること。</p> <p>(1)～(5)については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第四の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙7-2)

飲料水水質検査作業実施方法 (2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第四の一、二、四及び五に掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載がある。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

また、検査結果については、委託する場合にあっても、自ら保存することが必要です。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙8-1)

貯水槽清掃作業実施方法 (2-1)

年 月 日現在

作業班編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業手順	<p>(1) 作業工程 (貯水槽清掃後における貯水槽の水等の検査方法に関する事項を含む。)</p> <ul style="list-style-type: none">・㊶ 事前打ち合わせ ㊷ 準備 ㊸ 清掃作業 ㊹ 事後作業 ㊺ 水質検査 ㊻ 報告等の手順ごとに具体的な記載があること。 <p>(2) 使用する塩素剤の名称及び使用方法</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的に記載すること。 <p>(3) 機械器具の洗浄、作業衣等の消毒の方法</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的に記載すること。 <p>(4) 機械器具等の点検方法</p> <ul style="list-style-type: none">・使用する機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。 <p>(5) 保管庫の管理責任者の氏名</p> <ul style="list-style-type: none">・管理責任者を決めその氏名を記載すること。 <p>(6) 従事者の検便等の時期及び検査機関</p> <ul style="list-style-type: none">・具体的に記載すること。 <p>(7) 作業報告書作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none">・作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する等の記載があること。 <p>(1) 及び (4) については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第五の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙 8 - 2)

貯水槽清掃作業実施方法 (2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第五の一から五までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙9-1)

排水管清掃作業実施方法 (2-1)

年 月 日現在

	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業班編制			
作業手順	(1) 作業工程 (排水管清掃の効果の確認方法に関する事項を含む。) ・㊦ 事前打ち合わせ、㊧ 準備、㊨ 排水管の系統の確認、㊩ 洗浄作業、㊪ 効果の確認、㊫ 点検、㊬ 周囲の清掃、㊭ 報告等の手順ごとに具体的な記載があること。		
	(2) 機械器具等の点検方法 ・使用する機械器具は定期的に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。 ・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。		
作業手順	(3) 保管庫の管理責任者の氏名 ・管理責任者を決めその氏名を記載する。		
	(4) 作業報告書作成の手順 ・排水管清掃作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する等の記載があること。		
(1) 及び (2) については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第六の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。			

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙 9 - 2)

排水管清掃作業実施方法 (2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第六の一から五までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙10-1)

ねずみ昆虫等防除作業実施方法 (2-1)

年 月 日現在

作業班編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業手順			<p>(1) 作業工程 (事前調査及び事後調査の方法に関する事項を含む。)</p> <ul style="list-style-type: none">・㊶ 事前調査 ㊷ 打ち合わせ ㊸ 準備 ㊹ 防除作業 ㊺ 作業後の措置 ㊻ 事後調査 ㊼ 報告等の手順ごとに具体的な記載があること。 <p>(2) 使用する薬剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none">・医薬品または医薬部外品に限られるか確認してください。 <p>(3) 薬剤の保管方法</p> <ul style="list-style-type: none">・施錠できる保管庫等に保管する旨の記載があること。 <p>(4) 機械器具等の点検方法</p> <ul style="list-style-type: none">・機械器具は定期的および作業前に点検し、所定の効果・能力があることをチェックする旨の記載があること。・異常が認められた場合修理を行い、その記録を残しておくこと。 <p>(5) 保管庫の管理責任者の氏名</p> <ul style="list-style-type: none">・管理責任者を決めその氏名を記載すること。 <p>(6) 作業報告作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none">・作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する等の記載があること。 <p>(1)、(3) 及び (6) については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第七の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙10-2)

ねずみ昆虫等防除作業実施方法 (2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第七の一から六までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等の記載があること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

(別紙11-1)

環境衛生総合管理業実施方法等 (2-1)

1 清掃作業実施方法、別紙4-1、4-2のとおりとする。

2 空気環境測定作業実施方法は、別紙5-1、5-2のとおりとする。

年 月 日現在

作業班編制	作業班	監督者等	使用する機械器具
作業手順	<p>(1) 空気環境の調整、給水及び排水の管理並びに飲料水の水質検査の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ◎ 空気環境の調整方法、◎ 給水の管理の方法、◎ 排水の管理の方法、◎ 水質検査の方法等作業内容ごとに記載があること。 ◎ 空気環境の調整方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空気清浄装置、冷却加熱装置、加湿減湿装置の維持管理について記載があること。 ・ ダクトの清掃、補修について記載があること。 ・ 送風機及び排風機について、定期的に送風量又は排風量の測定及び作動状況を点検する方法について記載があること。 ・ 冷却塔の点検方法について記載があること。 ◎ 給水の管理の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯水槽の水抜管、オーバーフロー管、通気管の排水口空間、防虫網、ボールタップ、フロートスイッチ、電極式制御装置、満減水警報装置、フート弁、塩素滅菌機の点検方法について記載があること。 ・ 給水ポンプの揚水量及び作動状況の点検方法、給水系統の配管の点検方法について記載があること。 ◎ 排水の管理の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 排水槽、阻集器、排水管、通気管、フロートスイッチ、電極式制御装置、満減水警報装置、フート弁、排水ポンプの点検方法について記載があること。 ◎ 水質検査の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 給水栓における飲料水に含まれる遊離残留塩素の検査を7日に一回以上、定期に行うとともに、給水栓における飲料水の色の色、濁り、味及びその他の状態に異常がないことを随時確認する旨の記載があること。 <p>(2) (1)に関する作業報告書作成の手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作業報告書を2部作成し、1部をオーナーに提出し、1部を自社で5年間保存する旨の記載があること。 空気環境の測定結果については、委託する場合であっても、自ら保存すること。 <p>(1)については、「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第八の内容に沿った記載であるかどうかを確認してください。</p>		

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 作業手順の欄各事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。

3 作業日報、作業報告書等を添付する。

(別紙 1 1 - 2)

環境衛生総合管理業実施方法等 (2-2)

年 月 日現在

業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

業務の委託を行う場合に、委託を受ける者の名称、委託する業務の範囲、業務を委託する期間を、どのように建築物維持管理権原者に通知しているか。また、受託者の業務の方法が「清掃作業及び清掃用機械器具の維持管理の方法等に係る基準」の第八の一から七までに掲げる要件を満たしていることをどのように把握しているかについて記載があること。

業務委託を行わない場合は、「業務委託なし」等を記載すること。

機械器具等の点検の業務委託があればその方法について記載すること。

苦情及び緊急の連絡に対する体制

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの、苦情及び緊急の連絡に対して迅速に対応するための、連絡体制について記載があること。

業務委託している場合、緊急の連絡が元請業者にあったときに委託業者に連絡が迅速に対応できる体制について記載があること。

緊急連絡網を記載する等、迅速に対応するための具体的な記載があること。

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 それぞれの事項について、申請者自らが用いている作業実施方法等を記載した書面がある場合は、「別紙〇〇のとおり」と記載し該当する書面を添付してもよい。